

なかよし

天童中部小学校
いちよう学級だより
R5.1.30
No. 28

「できた！」の成功体験に至るまで

生活科でのことです。お正月の遊びの学習で、「コマ回し」をしました。コマを好きな色で塗り、自分だけのコマを作りました。それぞれが思い思いの色でコマを完成させ、いざ、回してみます。しかし、紐が上手く巻けなかったり、投げ方のコツがつかめなかったりし、なかなかうまく回りません…。そんな中、Bさんは、「保育園でやったことある。」と言い、1発でコマを回すこ



とができました。Aさんは、Bさんがコマを回す前に何度か挑戦していたのですが、上手く回せなかったため少し悔しい気持ちもあったのでしょう。「コマをやめて、違うお正月の遊びをしようかな…。」と言いました。私は「何がしたいの？」と聞くと、Aさんは「カルタがしたい。」と言います。時計を見ると、あと5分で給食の時間が始まるころだったので、「カルタだと途中で終わりになるかもしれないけど、それでもいい？」と聞きました。するとAさんは、少し考えてから「じゃあもう少しなら、コマやってみる。先生教えて。」と再びコマ回しに挑戦してみようと決意したのでした。「はじめからうまくできる人なんていないよ。難しいもんね。」と伝え、何度か一緒にやってみましたが、その後もなかなかうまく回すことができません…。でも、自分が塗ったコマがどんなふうに回るのか見てみたいという気持ちもあったようで、「先生、私のコマ回してくれる？」と言ってきました。私がコマを回すと「わぁ！きれい！」とニコニコしていました。でも、自分ではうまく回せなかったため、その後は回すことをせず、片付けてしまいました。

給食が終わり、教室に戻ってくると、Aさん、Bさん、Cさんの3人が昼休みにコマを使って遊んでいました。Cさんは上手なBさんに「どうやるの？」と聞いたり、AさんはBさんの回す様子をじっと見たりしています。Aさんも、Cさんも、何度も何度も挑戦していました。しばらくすると「先生！回った！見て！」と弾むような声が聞こえます。見ると、Aさんのコマが回っています。「できたよ！」ととびきりの笑顔で教えてくれました。

1度は諦めようと思ったのですが、給食を挟むことで気持ちを調整し、再びコマに挑戦したこと。そして粘り強く取り組み成功体験に繋がったこと。Aさんが自分のことを理解し、自己調整・再挑戦できたことに成長を感じた瞬間でした。

